

- ✓ たよレール設置事例集Vol.4 発刊!
- ✓ 写真大募集 結果発表!
- ✓ 理学療法士からみた手すりハ
- ✓ ちょっと気になるサステナビリティ

たよレール 設置事例集 Vol. 4

発刊しました!

今春発売予定の「たよレールSOTOE遮断機型」をはじめ、その他新商品も多数掲載!
たよレールシリーズの様々な組合せイメージをご覧いただけます。
アイデアのベースにぜひご活用ください。

今春発売予定

たよレールSOTOE 遮断機型

大人気のたよレールSOTOEシリーズに
遮断機型が初登場!
玄関と庭とのあいだは遮断機を
開け閉めして通り抜けできます。
わたレールEKで連続も可能!



P.19

Webサイトからご覧いただけます▶
<https://www.mazroc.co.jp/technical/>



P.29



たよレールSOTOE indoor highタイプ

昨年秋に発売した新アイテム!
細身の縦手すりと小ぶりなベースで
何本連続しても見た目スッキリ。
もちろん単体でもご使用いただけます。

受賞作品も掲載 P.5

設置例

施工例

第8弾!

入賞作品を
ご紹介!

写真大募集 結果発表!!

多数のご応募をいただきありがとうございました。
厳正な審査の結果、各賞が決定しました。

<https://event.mazroc.com/bosyu/20250901>

詳細は
こちら



たよレール設置例部門

金賞

プライムケア愛知株式会社 様

「たよレールSOTOE」の強みである
自由な組合せが活かされた事例。
生活動線にも配慮された
素晴らしいプランです。





“たよレール”を設置する前に、 座面の高さを整える必要性

最近「背中が丸くなって骨盤が後傾しているから横手すりではなく、縦手すりを引っ張って立ち上がってもらおう」という声をよく聞きます。転倒せずに立ち上がることができれば縦手すりでも横手すりでも問題ないと考えていませんか。しかし、縦手すりに頼った立ち座りの動作では重心が後ろに残ってしまいドスンと尻もちをつくように座ってしまうことがほとんどです。これまでは、たまたま圧迫骨折が起こらなかっただけで、繰り返しの衝撃は脊椎に蓄積されます。いつか「いつの間にか骨折（圧迫骨折）」を引き起こし、生活が一変してしまう危険性があるのです。

今回、実際に弊社の地域密着型通所介護「まちカフェデイSport」へ通われている方にご協力いただき、30cm・40cm・50cmの台に座った状態から、それぞれ立ち上がり動作の違いを確認しました。30cmでは、ほとんどの方が立ち上がりできませんでした。40cmでは、ゆっくり立ち上がることは難しく、反動を使って勢いをつけて立ち上がっていました。50cmになると勢いをつけることなく、体幹を前傾前屈させた準備の姿勢をとってから安全に立ち上がることができていました。この結果から考えられることは、座面の高さが40cm以下になると、股関節や膝関節の可動域の問題から安全に立ち上がるための骨盤前傾がとれなくなるということです。立ち上がり動作で重心を前方移動するためには、勢いと縦手すりに頼らざるを得なくなります。しかし、立ち上がり動作は勢いと縦手すりでは抑えられません。これが圧迫骨折の大きな原因の1つになります。安全に立ち座りを行うためには、ベッドやソファの高さを42cmから45cm以上に設定することが何より重要です。股関節が膝よりも高い位置にくる高さを確保してください。もし、股関節に痛みがあったり

手術している方は、50cmの高さがあると股関節を大きく曲げることなく骨盤を前傾でき安全に立ち上がれます。

しかし、多くの方は座り慣れた40cm以下に沈み込むソファを使い続けています。一度座ったら最後、トイレと食事以外では立ち上がりず、1日のほとんどをソファでウトウトして過ごします。動かなければ活動量は減り筋力低下を招き、圧迫骨折のリスクは日を追うごとに高まります。どうしてもお気に入りのソファを使い続けたいときには、ホームセンター等で売られている継ぎ脚や合板で工夫して、45cm以上の高さにかさ上げしてください。

圧迫骨折の予防には手すりの設置や安全な立ち座り動作を練習する前に、まずは座っている家具の高さを適切に設定することが先決です。年齢や身体の状態で動けないのではなく、環境が合っていないから動けないだけかもしれません。圧迫骨折から寝たきり生活に変わっていくのではなく、年齢や身体の状態に合わせた生活環境を変えていくことに目を向けてみましょう。



膝より股関節の位置が低い
骨盤を前傾できず重心の前方移動が難しい



膝より股関節の位置が高い
骨盤を前傾して重心が前方移動する

ちょっと気になる

サステナビリティ 11

「3R(リデュース・リユース・リサイクル)」は日本でもすっかり定着しましたが、サーキュラーエコノミーの先進であるオランダでは、細分化した「10R」が標準です。

「Rのハシゴ」と呼ばれるこの指標は、R0からR9まで、環境負荷の低い順に並びます。特に介護用品のレンタル事業そのものが、製品を捨てずに繰り返し使う「R3:再使用」に位置づけられ、日常的にも高度な「R4・R5・R6(右図参照)」といったRを駆使しています。

リファビッシュ(R5)は一般的なメンテナンスのことですが、業界の中で耳にすることはありません。弊社は手すり販売に加え、リマニュファクチャリング(R6)であるMOTOEプロジェクトを展開し、業界自体が循環型社会における隠れた優等生であることも伝えていきたいと考えます。

This month's theme

3Rから「10R」へ。 介護用品のレンタルが担う循環の技術

R0 (拒否) Refuse ペーパーレス化	R1 (再考) Rethink 所有から利用	R2 (減らす) Reduce 手すりの軽量化	R3 (再使用) Reuse 点検後再レンタル	R4 (修理) Repair 機構調整、補修
R5 (刷新) Refurbish メンテナンス	R6 (再製造) Remanufacture 消耗品交換	R7 (用途変更) Repurpose 備品流用	R8 (再生利用) Recycle 金属・プラのリサイクル	R9 (熱回収) Recover ゴム・プラの燃料化

未来を変える一歩を
いっしょに。

たよレールシリーズ

MOTOE
モトエプロジェクト

地球に優しい福祉用具の
サーキュラーエコノミー。



福祉住環境
コーディネーター 道
の答え：①見当識

マツ六公式SNS
更新中!



Instagram ▶ @mazrocofficial
X ▶ @mazrocofficial1

Facebook ▶ facebook.com/mazroc/
YouTube ▶ @mazrocsho

発行元: **マツ六株式会社**

〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号
TEL 06-6774-2255 (代表) FAX 06-6774-2248

<https://www.mazroc.co.jp/>
MAZROC 2602-1

